

二〇二二年度

茨城大学五浦美術文化研究所

主要活動報告

片口直樹

はじめに

茨城大学五浦美術文化研究所（以下、研究所）の主な活動を報告する。令和四年度は、前年度に引き続き、コロナ禍の影響が色濃く残る一年であった。事業の縮小が余儀なくされ、研究所としての活動が制限される状態が続いていたと言える。そのような状況においても、研究所の運営に尽力した所員や職員、管理人の皆様には感謝申し上げます。

研究所では、主な活動方針として①「天心遺跡及び収蔵資料の保守管理と調査研究」、②「地域連携事業」を掲げている。当初の計画を変更せざるを得ない状況もあったが、ほぼ予定通りの事業を実施し、無事に一年を終えることができた。これは、客員所員の皆様をはじめ、地域の皆様のご協力なしには成し得なかつたことである。この場をお借りして感謝申し上げますとともに、今後も研究所を温かく見守っていただきたいと、切に願うところである。

以下、研究所の諸活動の内容を報告する。

活動報告

一 天心遺跡及び収蔵資料の保守管理と調査研究

(一) 遺跡保守管理、収蔵品の持続的保守管理

研究所は、岡倉天心関係の遺跡等の資産の十全な保全の上に存立している。遺跡の保全策としては、日常的な維持管理と長期的な視野に

立つた大規模な整備である。

日常的管理としては、例年通り、研究所内清掃作業・浄化槽保全業務・消防整備保全業務・松くい虫防除作業・研究所内植栽工事・天心邸前庭園及び芝生保全業務・休憩室の整備整頓などを行った。

整備事業としては、老朽化や破損等のため、天心邸の外壁補修、六角堂階段通路の擁壁及びため池脇のロープ柵の補修、六角堂通路脇コンクリート柵の設置を行った。また、長屋門内の流し台取り換え工事、管理室内の蛍光灯修理、天心記念館内の整備（『五浦釣人』前の柵の設置等）も行った。

研究所は太平洋に面した立地であり、日々海風にさらされた環境にある。老朽化や破損が免れない状況にあるため、遺跡の保守管理のみならず、来場者の皆様の安全のためにも、次年度以降も継続的に整備にあたる必要がある。

(二) 研究所主催事業「所員企画展」の開催

これまで、天心遺跡に関連する収蔵作品等を紹介することを目的とした「収蔵品展覧会」を実施していたが、二〇二二年度より新たな試みとして「所員企画展」を開催することとした。研究所の所員は様々な分野で活躍する研究者が集っており、それらの各専門分野を生かした展示を企画することで、広く芸術・文化を対象とした研究所及び所員の研究成果を訴求したいと考える。第一弾として、教育学部教授の齋木久美所員を中心に企画した展覧会を開催した。内容は、小川芋銭や高村光太郎などの書簡などを展示し、手紙を「見る」ことで、書き手の「そのひとらしさ」を体験し、「読まない」鑑賞を楽しむもの

である。本展では五浦ゆかりの横山大観や木村武山などの書簡も展示し、手紙がつなぐ人と人の関わりを創出していた。展示の記録は小冊子としてまとめており、研究所等で配布している。

事業名…茨城大学五浦美術文化研究所所員企画展二〇二二

『つなぐ人つなぐ文―手紙に「見る」そのひとらしさ―』

会場…茨城大学図書館本館一階展示室

会期…令和四年一月八日(火)～二月二日(月)

講演1…「小川芋銭の芸術」小泉晋弥氏

(茨城大学名誉教授・美術評論家)

講演2…「光太郎と宮崎稔」安裕明氏(茨城県立多賀高等学校講師)

共催…茨城大学図書館

(三) 研究成果の公開

令和四年二月に『五浦論叢』第二十九号を刊行し、茨城大学学術情報リポジトリROSEにて公開している。刊行に向け、執筆者の皆様、印刷会社の皆様には多くのご協力を賜った。この場をお借りして御礼申し上げる。なお、今後の持続可能な刊行を目的とし、新たに『五浦論叢』編纂委員会を組織した。

(四) 五浦六角堂三次元点群データの贈呈

令和二年度に「茨城土地家屋調査士会七〇周年記念プロジェクト」として、六角堂の登記登録及び3Dモデリングデータの作成が行われた。この度、コロナ禍の影響により延期となっていたデータ贈呈式が令和四年一月一四日に実施された。この場をお借りして、茨城土地

家屋調査士会の会長様はじめご参列いただいた皆様に感謝申し上げます。式の様子は新聞等のメディアやYoutube等で紹介された。また、上記所員企画展等においても「五浦六角堂三次元点群データ」を元にした六角堂の紹介映像を公開した。

二 地域連携事業

(一) 研究所主催事業「観月会」の開催

研究所主催の恒例事業である「観月会」では、これまで茶会や講演会、展覧会等を実施してきた。しかし、コロナ禍に突入以降、事業の開催に制限が余儀なくされ、前年度同様に今年度も展覧会のみで開催となった。茨城県ゆかりの美術作家である綿引明浩氏を作家として迎え、研究所を舞台とした展覧会と、茨城県天心記念五浦美術館を会場とする小学生向けのワークショップを開催した。ワークショップでは、作家オリジナルの絵画技法である「クリアグラフィ」を体験することができ、参加者は綿引作品の根幹を味わうことができたであろう。展示の記録は小冊子としてまとめており、研究所等で配布している。

事業名…「観月会二〇二二 綿引明浩展「透明な絵画」」

会場…茨城大学五浦美術文化研究所(天心遺跡)

会期…令和四年一月一日(火)～二〇日(日)

掲載…『月刊みと11月号』(編集・発行 株式会社ふじ工房)

企画名…『綿引明浩のワークショップ』

『透明な絵画・クリアグラフィ』

会場…茨城県天心記念五浦美術館講座室

日 時：令和四年二月五日（土）午後一時三〇分～午後三時
共 催：茨城県天心記念五浦美術館

（二）研究所共催事業

「人文社会科学部地域史シンポジウム」への参加

前年度同様、所員の多くが企画・運営に関わる本学人文社会科学部主催事業を共催した。シンポジウムの最後には、事業開催及び成功に對する所長挨拶を行った。

事業名：第17回茨城大学人文社会科学部地域史シンポジウム

『北関東の豪族たちⅡ―「長者」たちの萌芽と基盤―』

会 場：茨城大学講堂

日 時：令和五年二月一日（土）一二時三〇分～一七時

主 催：茨城大学人文社会科学部

後 援：茨城大学考古学研究会

（三）天心遺跡記念公園及び墓地保護管理委員会への参加

（於：北茨城市役所）

公益財団法人日本ナショナルトラストが主催する第一五回天心遺跡公園及び墓地保護管理委員会（於：北茨城市役所三階協議室）にオブザーバーとして所長が参加した。参加団体の令和三年度における実績と令和四年度の主な動向を共有し、様々な課題に対する協議を行った。次年度以降は所長が委員として参加する予定である。

（四）「天心サミット」への参加

五浦日本美術院岡倉天心偉績顕彰会主催の事業「天心サミット」が中止となったため、次年度の開催に向けて協議を行った。令和五年度的における事業の開催では、研究所から副所長が講演会講師として参加することとなった。また、その際に使用する映像製作に取り掛かることとなった。他にも、「観月会 特別展示」を開催することとなった。

三 その他

令和四年度 茨城大学五浦美術文化研究所 美術館などへの出品依頼

No.	作 品	貸出期間	貸 出 先	備 考
1	活人箭	令和4年9月1日～ 令和4年12月16日	小平市平櫛田中彫刻美術館	小平市制施行60周年事業「生誕150年平櫛田中展」に出展するため
2	The book of tea, The Ideals of the East, The awakening of Japan, 扇面漢詩	令和4年6月25日～ 令和4年11月7日	ワタリウム美術館	ワタリウム美術館「鈴木大拙展」における展示のため

令和四年度 茨城大学五浦美術文化研究所 収蔵品掲載許可（出版・放送等への協力）

No.	作品	内容	承認日	目的	依頼先
11	六角堂	画像データ	7月20日	CREA WEBで運営する、日本全国の四季折々の絶景スポットを紹介する「いつか行きたい! 『日本にしかない風景』再発見」において、茨城県のスポットのなかで五浦海岸を紹介するため	CREA
10	六角堂	画像データ	7月19日	静岡市三保松原文化創造センター企画展「全国の身近な松原展」において、五浦海岸の景観を紹介するにあたり、五浦六角堂の写真を展示するため	静岡市三保松原文化創造センター
9	六角堂	画像データ	7月19日	「うぐいす谷温泉 竹の葉」の公式HPリニューアルに向けて、周辺観光案内ページに〈六角堂〉を掲載するため	株式会社いしい
8	六角堂	映像	6月30日	も撮影するため	福島テレビ
7	六角堂	画像データ	6月24日	CREA WEBの記事に五浦六角堂の写真を掲載するため	茨城県庁観光物産課
6	六角堂 天心邸	画像データ	6月24日	茨城新聞社発行 あいちやつと8月号 巻頭特集「茨城の庭園」掲載のため	月刊みと
5	六角堂	画像データ	6月3日	SNSの運用目的で、海外ユーザーが訪日が可能になった際に訪問を検討いただけるように各地のスポット紹介をするため	INTO
4	六角堂	画像データ	5月19日	経済新聞茨城版の広告欄「伸びゆく 北茨城市」に五浦六角堂の写真を掲載するため	北茨城市商工観光課
3	六角堂 他	画像データ	4月27日	5月22日（日）放送「朝だよ! ハピネスふくい」で岡倉天心を紹介し、その際、画像を使用するため	福井放送 制作部
2	六角堂	画像データ	4月22日	国内観光情報サイト「getcity（キャッチー）」において、国内旅行の魅力や、国内の観光スポットなど国内旅行を楽しむための国内観光情報を掲載し運用するため	株式会社 エイチ・アイ・エス
1	六角堂	画像データ	4月13日	機関誌において、企業の魅力を見せつつ、周辺の施設の紹介をすることで観光誘致と、地域のさらなる活性化のため	株式会社 ジマンニ

20	19	18	17	16	15	14	13	12
六角堂	六角堂等	六角堂	六角堂	六角堂	六角堂	六角堂	六角堂 三猿図 和55年盗難、秋景、 年の写真、海嶽（昭 術館）、横山大観晚 真（於ポストン美 真、岡倉天心の写 真、下村観山の写 面、五浦時代の作画 写真、日本美術院 真、木村武山晩年の 写真、菱田春草の写 時の資料、五浦即 六角堂修理に関し	六角堂
画像データ	イラスト	画像データ	画像データ	画像データ	画像データ	画像データ	画像データ	画像データ
9月28日	9月28日	9月28日	9月9日	9月9日	8月30日	8月25日	8月2日	7月28日
J Rグループ会社主催のツアアの募集媒体（チラシ・ホームページ）に記載するため	J R東日本「大人の休日倶楽部」12月号掲載のため	茨城県国際観光課からの受託事業において、運営するWebサイト茨城県周遊観光情報を掲載した記事作成特集テーマにおいて県内観光情報を紹介するため	2023年版カレンダーを作成にあたり、「六角堂」を掲載するため（茨城県内の景色や県産品の画像の中で六角堂も掲載する）	栃木県の県政広報誌「とちぎ県民だより」11月号にて六角堂の写真に掲載するため	組織の会員誌『ジパング倶楽部』11月号で、「六角堂」を紹介するため	絶景茨城カレンダー2023の制作で、6月の北茨城市の五浦海岸風景画像として六角堂を使用するため	つくば美術館にて文化レスキューの重要性を理解、普及を目的とした展示会（8/16-21）を開催する。その際、日本美術の総本山である六角堂修復の様子をパネルにて展示するため	J R東日本水戸支社の企画「駅からハイキング」のパンフレットチラシに五浦六角堂の写真に掲載するため
J R水戸支社	大人の休日倶楽部	WAmazing	東京ガスネットワーク株式会社 日立支店	茨城県観光物産課	株式会社交通新聞社 ジパング倶楽部編集部	茨城県観光物産協会	アール・パレ展 実行委員会	J R東日本 水戸支社

31	30	29	28	27	26	25	24	23	22	21
六角堂	六角堂 横山大観が描いた 五浦の大観邸の平 面図	六角堂天心邸長屋 門からの小道	六角堂	六角堂・天心邸	六角堂他	六角堂	六角堂	六角堂	六角堂	六角堂
画像データ	画像データ	画像データ	画像データ	撮影写真	撮影写真	画像データ	観光いばらきフォ トダウンロード写 真	観光いばらきフォ トダウンロード写 真	観光いばらきフォ トダウンロード写 真	画像データ
受理	1月19日	3月7日	11月28日	11月15日	11月11日	11月9日	10月31日	10月27日	10月19日	10月13日
北茨城市・高萩市・いわき市合同企画「常磐3市サイクリン グスタンプリアー」に六角堂の写真を掲載するため	1/31(火)放送の「ぶらぶら美術・博物館」にて、上野の 横山大観記念館取材し、横山大観が住んできた五浦の大観 邸について触れる際、五浦の大観邸の平面図の写真を掲載す るため	北茨城市文化財マップに掲載するため	岡倉天心の思想などについて研究を行っており、自費出版を するにあたり写真を使用したいため	BS朝日の番組「子供たちに残したい美しい日本のうたS P」にて野口雨情を紹介。故郷の北茨城市の魅力も紹介する ため、代表する風景のひとつとして六角堂・天心邸の紹介も するため。	り旅」12/25発行) 茨城県社会福祉協議会発行の「わくわくライフいばらき 冬 号」における取材のため(*掲載コーナー「まちあるき日帰 り旅」)	全国市長会機関紙「市政」における「マイ・プライベート・ タイム」の記事に五浦六角堂の写真を掲載するため	NHK番組「ロコだけが知っている」において、茨城県の観 光地・グルメの魅力を取り上げる。その中で、北茨城の五浦 海岸の絶景を紹介するため	茨城県庁友の会設立50周年記念特集号を作成にあたり、特集 号の裏表紙に県内6支部を代表する名所名跡の写真を掲載す るのに六角堂も掲載するため	茨城県広報誌「ひばり」11月号にて、県北を代表する場所の イメージとして五浦海岸と六角堂の写真を掲載するため	旅行・お出かけ情報を紹介するウェブサイト「NAVITIME Travel(ナビタイムトラベル)」において、六角堂を紹介す るため
北茨城市商工観光課	株式会社東阪企画	北茨城市生涯学習課	土屋 雄二郎	テレビマンユニオン	株式会社 日宣メディアックス	北茨城市	NHKみと	茨城県庁友の会	茨城県営業戦略部営業 企画課	有限会社 アナパ・パシフィック

35	34	33	32
六角堂	天心邸 六角堂 長屋門	岡倉天心【五浦即 詩】 横山大観・岡倉天 心【谷中鷺】	東京美術学校初期 制帽
画像データ	撮影写真	画像データ	画像データ
3月28日	3月10日	3月7日	2月14日
道の駅奥久慈たいごに設置予定の茨城県内観光地を案内するマップに六角堂のサイトのQRコードを載せ、お客様がQRコードを読み込み、六角堂についての詳細を確認できるようにするため	株式会社 KINTO 公式 Instagram の茨城県内のおすすすめスポット企画として掲載するため	雑誌「文化展望」内に掲載の美術評論（岡倉天心とフェノロサが日本の歴史上どのように現れてきたのかについて、それぞれの生い立ち・交友関係から解き明かす内容）で使用するため	研究雑誌『國華』（号数未定）に掲載予定の論文「明治期京都の美術学校における日本画教育史」にモノクロ挿図として掲載するため
大子町役場観光商工課	株式会社 KINTO	株式会社フィネス	京都文化博物館

やごうじ

研究所の主な活動について記してきたが、これまでも述べたとおり、いくつかの事業については報告が叶わなかった。観月会における茶会や講演会の開催、五浦日本画塾や岡倉天心セミナーの開催、五浦美術館との共同調査等、十分な取り組みが叶わなかった事業について

は、ポストコロナの状況を鑑み、事業内容を再検討する必要がある。本報告を通して、令和四年度の活動を概観することにより、これから研究所の発展について模索する機会としたい。地域の皆様から愛される研究所を目指し、今後も活動に取り組む所存である。

〔かたぐち なおき／所長・本学教育学部准教授〕